



GPSゾンデ受信機とGPSゾンデ



赤道大気レーダー

京都大学生存圏研究所様に明星電気のGPSゾンデ受信機システムとGPSゾンデを納入

明星電気はこのたび、京都大学生存圏研究所様にGPSゾンデ受信機システムとGPSゾンデを納入しました。

同研究所では海外拠点として、インドネシア共和国西スマトラ州の赤道直下に、インドネシア航空宇宙庁(LAPAN)との協力関係のもと赤道大気観測所を運営し、生存圏科学を推進しています。

観測所の中核を担う赤道大気レーダー(Equatorial Atmosphere Radar; EAR)(写真下)は、560本の3素子八木アンテナを直径110mの敷地に配置した、大型の大気観測用ドップラーレーダーで、全国国際共同利用や国内外の研究者に利用されています。本機は同観測所において、主に赤道大気レーダー等との協同観測に使用される予定です。明星のGPSゾンデシステムは、熱帯域でのフィールド研究にも貢献していきます。

(当社営業担当： 関西支店 滝沢 一之)



宮川ダム

中央管理所内
ダム観測データ管理設備

福島県会津農林事務所様 会津宮川土地改良区中央管理所内 ダム観測データ管理設備更新！

福島県会津若松市の西20キロ会津美里町に位置する会津宮川土地改良区様管内では、宮川が農業用水に利用されています。

以前は、大雨により下流河川が氾濫し、耕地、公共施設、人家に至るまで甚大なる被害を受けていましたが、福島県は1950年から1970年にかけて、水調節、農地防災、かんがい用水目的に宮川・佐賀瀬川・氷玉川の上流にそれぞれ宮川・二岐・栃沢ダムを建設しました。

明星電気は、2012年度に宮川・二岐・栃沢ダムの各管理所で観測したデータを有線回線(光)によって、一括管理を行う中央管理所へ伝送する機器の更新を受注し納入しました。

ここでも明星電気の技術が、地域住民の方々の安全を守るために役立てられています。

(当社営業担当 東北支店 齊藤 芳博)



セミナー風景

ベトナム地球物理学研究所(IGP)において 明星防災セミナー開催！

ベトナムでは、各国のODA等の支援を受けて、北部の洪水・地滑り対策、中部の防災システム構築等のシステム整備を進めようとしています。

IHIアジア・パシフィック(IHI AP)、IHIハノイのご協力により、これらの関係機関に対し、製品紹介の機会を得て、4月25日ベトナム・ハノイの地球物理学研究所(INSTITUTE OF GEOPHYSICS: IGP)で、明星防災セミナーを開催しました。

IGPは日本でいう文部科学省系の研究機関で、地震防災に関しては気象庁のように防災情報としての地震津波情報を出す役割も持っており、IGP所長、地震津波情報センター副センター長、農業省台風・洪水対策部門副長、Viettel TELCOM社をはじめ約35名の研究者が参加されました。

IHI、明星の会社説明と共に、日本の地震防災システム(主に気象庁)での当社の取り組みについて紹介し、席上、実績や品質、保守など多くの質疑が行われ大変好評でした。デモ観測や継続的な情報収集を行い、アジアの安全安心な発展に貢献していきます。

(当社開催担当： グローバル戦略グループ、気象・防災・制御グループ)

Sensing & Communication

私たちは、独自の Sensing & Communication 技術により革新的な商品・サービスを創造し

安全・安心な社会の発展に貢献していきます。